

校舎配置ごとの特徴比較

既存		A (校庭が南側配置の場合)	B (校庭が東側配置の場合)	C (校庭が北側配置の場合)	D (校庭が西側配置の場合)				
 <p>延べ面積：約7,000㎡ 校庭面積：約4,900㎡</p>		 <p>延べ面積：約8,100㎡ 校庭面積：約4,500㎡</p>		 <p>延べ面積：約8,200㎡ 校庭面積：約4,900㎡+多目的広場 約540㎡</p>		 <p>延べ面積：約8,300㎡ 校庭面積：約4,900㎡</p>		 <p>延べ面積：約8,200㎡ 校庭面積：約4,800㎡+多目的広場 約1,100㎡</p>	
<p>▲ 正門位置 △ 通用門位置 ▲ 車両出入口想定位置</p>		<p>▲ 正門想定位置 △ 通用門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置</p>		<p>▲ 正門想定位置 △ 通用門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置</p>		<p>▲ 正門想定位置 △ 通用門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置</p>		<p>▲ 正門想定位置 △ 通用門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置</p>	
比較項目		特徴		特徴		特徴		特徴	
1 校舎環境	教室配置	I, II, III ・普通教室は1学年/2階、2学年/3階となる ・特別教室は2階（一部1階）に集約		I, II, III ・普通教室は各階で学年毎にまとめている ・特別教室は、2～4階に分散		I, II, III ・普通教室は各階で学年毎にまとめている ・特別教室は、2～4階に分散		I, II, III ・普通教室は各階で学年毎にまとめている ・特別教室は、2～4階に分散	
	窓先の環境、日照、採光	I, IV, V ・普通教室は南側採光・日照 ・特別教室は北側採光		I, IV, V ・普通教室は東側（校庭側）採光・日照 ・特別教室は南側採光・日照		I, IV, V ・普通教室は南側採光・日照 ・特別教室は北側（校庭側）、東側採光・日照		I, IV, V ・普通教室は西側（校庭側）採光・日照 ・特別教室は南側、東側採光・日照	
	通風	I, IV, V ・吹抜、共用部等の開口により普通教室は通風を確保		I, IV, V ・吹抜、共用部等の開口により普通教室は通風を確保		I, IV, V ・吹抜、共用部等の開口により普通教室は通風を確保		I, IV, V ・吹抜、共用部等の開口により普通教室は通風を確保	
	居住性	I, III, V ・普通教室が南側（校庭）に面する ・校庭全体に目が届く職員室・校長室		I, III, V ・普通教室は東側（校庭）に面する ・校庭全体に目が届く職員室・校長室		I, III, V ・普通教室は南側に面する ・校庭全体に目が届く職員室・校長室		I, III, V ・普通教室は西側（校庭）に面する ・校庭全体に目が届く職員室・校長室	
	幹線道路側からの影響	I, IV, V ・現状とほとんど変わらない		I, IV, V ・現状より一部特別教室等が影響を受けやすい（早稲田通りまで約8mの離隔あり）		I, IV, V ・現状より普通教室が影響を受けやすい（早稲田通りまで約8mの離隔あり）		I, IV, V ・現状より一部特別教室等が影響を受けやすい（早稲田通りまで約12mの離隔あり）	
2 校庭環境	災害時の対応	V, VII ・緊急車両は早稲田通りから校庭を出入り ・体育館と校庭が同レベルにあり、アクセスしやすい		V, VII ・緊急車両は早稲田通り及び北側道路から校庭を出入り ・体育館と校庭が同レベルにあり、アクセスしやすい		V, VII ・緊急車両は北側道路から校庭を出入り ・体育館と校庭が同レベルにあり、アクセスしやすい		V, VII ・緊急車両は早稲田通り及び北側道路から校庭を出入り ・体育館と校庭が同レベルにあり、アクセスしやすい	
	校庭配置、形状、広さ	I, VII ・既存より狭くなる（▲約400㎡） ・細長く、150mトラック周囲に余裕が無い形状となる（運動会の際のテントスペース等が課題） ・野球等のレイアウトが課題		I, VII ・既存と同等の広さの校庭及び多目的広場（部活動などでの分割利用がしやすい） ・150mトラック周囲にも余裕のある形状となる		I, VII ・北東角部分を含めて既存と同等の広さ（部活動などでの分割利用がしやすい） ・150mトラック周囲にも余裕のある形状となる		I, VII ・既存とほぼ同等の広さの校庭及び多目的広場（部活動などでの分割利用がしやすい） ・150mトラック周囲にも余裕のある形状となる	
	日照	I, IV ・ほとんど日影は生じない		I, IV ・午後に校庭の一部に日影が生じる		I, IV ・午前及び午後校庭の一部に日影が生じる ・冬季は終日日影となる部分がある		I, IV ・午前に校庭の一部に日影が生じる	
	アクセス・動線	III, IV ・生徒は北門より校舎側から登下校 ・車両は北側から出入りし歩車分離を確保 ・学校開放等来客は北側から来校		III, IV ・生徒は北及び南門より校庭側から登下校 ・車両は北側から出入りし歩車分離を確保 ・学校開放等来客は北側から来校		III, IV ・生徒は北門より校庭側、南門より校舎側から登下校 ・車両は南側から出入りし歩車分離を確保 ・学校開放等来客は南側から来校		III, IV ・生徒は北及び南門より校庭側から登下校 ・車両は南側及び北側から出入りし歩車分離を確保 ・学校開放等来客は南側から来校	
	既存樹木の保存	IV, VI ・北側、西側は樹木伐採の可能性あり		IV, VI ・北側、西側は樹木伐採の可能性あり		IV, VI ・既存樹木は保存可能（南側は一部伐採予定）		IV, VI ・既存樹木は保存可能（南側は一部伐採予定）	
3 周辺環境	高射砲台跡地の活用	IV, VI ・高射砲台跡地は保存可能 ・校庭と一体利用が可能		IV, VI ・高射砲台跡地は保存可能 ・校庭と一体利用が可能		IV, VI ・高射砲台跡地は保存可能 ・環境整備を行うことで、東向き室への修景が可能		IV, VI ・高射砲台跡地は保存可能 ・環境整備を行うことで、東向き室への修景が可能	
	日影	IV ・冬季、北側住宅街の一部が終日日影となる ・終日日影の範囲は現況より大きくなる		IV ・周辺街区に終日日影は発生しない		IV ・周辺街区に終日日影は発生しない		IV ・周辺街区に終日日影は発生しない	
	校庭の音・砂ぼこり	IV ・現況と同様に東側街区に影響あり		IV ・北側街区の一部、東側街区に影響あり		IV ・北側街区、西側街区、東側街区の一部に影響あり		IV ・北側街区、西側街区、東側街区の一部に影響あり	
4 工事計画	工事中の既存施設利用	I, III ・校舎・体育館・プールとも利用できない		I, III ・校舎のうち、普通教室・管理諸室等は利用できる ・特別教室・体育館・プールは利用できない ・校庭を一部利用できる		I, III ・校舎・体育館とも利用できる ・プールは利用できない		I, III ・校舎・体育館とも利用できる ・プールは利用できない	
	仮設校舎	I, III ・工事中は仮設校舎・仮設体育館が必要となる		I, III ・工事中は仮設校舎（特別教室のみ）・仮設体育館が必要となる		I, III ・仮設校舎は不要となる ・プールのみ他施設利用		I, III ・仮設校舎は不要となる ・プールのみ他施設利用	
工事期間（※1）		仮設校舎・仮設体育館工事（解体含む） 約1年1ヶ月 改築校舎工事 約2年0ヶ月 既存校舎解体工事 約8ヶ月 環境整備工事 約8ヶ月 計 約4年5ヶ月		仮設校舎・仮設体育館工事（解体含む） 約8ヶ月 改築校舎工事 約2年0ヶ月 既存校舎解体工事 約8ヶ月 環境整備工事 約8ヶ月 計 約4年0ヶ月		改築校舎工事 約2年0ヶ月 既存校舎解体工事 約8ヶ月 環境整備工事 約8ヶ月 計 約3年4ヶ月		改築校舎工事 約2年0ヶ月 既存校舎解体工事 約8ヶ月 環境整備工事 約8ヶ月 計 約3年4ヶ月	
解体・仮設・改築に係るコスト（※2）		約 50億円		約 45億円		約 40億円		約 40億円	

※第4回懇談会の資料4-1から追加・修正している箇所を赤字にしています。
 ※1 工事期間、コストについては、あくまでも現段階の想定であり、実際には前後する可能性があります。
 ※2 擁壁の改修を要する場合、工事期間、コストについての検討が必要となります。